

すみだの学校のあり方について問う



民主新しい風
木村 たけつか

問 本区の学校週5日制に伴う現在の土曜補習教室等の事業と土曜日の今後の教育指針、高齢者とのふれあいを図る「徳育の充実」、「親学」に対する今後の指針について伺う。また、小学生の学力低下は深刻な事態を迎えているが、本区の30人学級を含む少人数学級への考え方はいかがか。

学校は今後、地域の拠点として大きな期待が寄せられると思うが、この度の学校適正配置計画は、小中学校を学校群としてブロック化することが提案されており、学校を中心とした新しいすみだのコミュニティの創造だと考える。各ブロックごとに小中学校の連携を強化した小中一貫教育を推進することにより、地域の教育力を活用した「すみだらしい教育」の推進について伺う。また、ブロック化の推進を図るのであれば、学校選択制と二律背反をはらむ可能性があり、検証・見直しすべきと考えるがどうか。保護者や地域の方々が合議制の機関である「学校運営協議会」を通じて、一定の権限を持つて運営に参画する「コミュニティスクール」の導入について所見を伺う。

り広げていく。「親学」については「両親大学」など機会の提供のほか、保護者自らが子育てや親の努力をする。都の方針を受け、1学級40人を基準とし、ティーンエイチングや習熟度別指導等工夫しており、区単独の取組みとして30人学級を行う考えはない。

地域の教育力の活用は学校教育の中に地域の特性を反映することになり「すみだらしい教育」にならざるものと考えられる。ブロック化の推進と学校選択制は相互に矛盾するものではないが、その成果と影響について今後検証していく。学校運営協議会導入は、外部の視点の導入等につながるなど成果も現れている。コミュニティスクール導入、学校運営協議会の充実・発展の延長上の課題としていく。

答 ひとり暮らしや認知症の高齢者が増加することを踏まえ、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域での生活が継続できるように地域密着型サービスの整備を積極的に進めていく。

民間事業所の参入が進まない理由は、場所確保の費用と人件費がかさみ採算が合わないことが挙げられる。設置に当たっては、国・都の補助金増額、制度の充実を強く要請する。採算性の確保には給付費の加算も必要なので、他区の状況も考慮し区独自の対策も検討し地域密着型サービス整備を進めたい。

問 新タワーを中心とした観光まちづくりには回遊性を豊かにするために動線を増やす必要がある。水城ではレンタサイクルや電気自動車等の導入を図るべき。水辺に隣接しては隅田川、北十間川のネットワークを形成し、水城と陸域を結ぶ拠点となる「川の駅」の建設

を求め、改正介護保険法では、小規模多機能型居宅介護を利用すると他のサービスが利用できなくなる。本来ならば小規模多機能型事業所に通う高齢者は地域の中で様々な世代と支えあつて暮らしやすい社会を目指すものであるが、急増する高齢者の暮らしを支える住まいづくりについてどのように取り組んでいくのか。

用語の解説

***ティームティーチング**
…1つ授業に複数の教師が対する授業の指導に当るもの

観光まちづくりの推進について問う

問 新タワーを中心とした観光まちづくりには回遊性を豊かにするために動線を増やす必要がある。水城ではレンタサイクルや電気自動車等の導入を図るべき。水辺に隣接しては隅田川、北十間川のネットワークを形成し、水城と陸域を結ぶ拠点となる「川の駅」の建設

原爆症認定制度の抜本的改善に関する意見書(要旨)

被爆後62年たった今日も、多くの被爆者が多重がんなどで苦しんでいるにもかかわらず、現在「原爆症」と認定を受けている被爆者は、「被爆者健康手帳」保持者のわずか0.9パーセントに過ぎません。

このような中、国を相手に原爆症認定の却下処分の取消しを求める訴訟が全国各地で提起され、国側敗訴という司法判断が示されたにもかかわらず、国はいずれも控訴しています。

被爆者も高齢となり、裁判中に原告が亡くなるなど、救済には一刻の猶予も許されない状況です。

よって、墨田区議会は国会及び政府に対し、原爆症認定制度を原爆被害の実態に見合った制度に改善するよう強く要望いたします。

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 あて

議案 平成19年度墨田区介護保険特別会計補正予算(国都等返還金など8億1129万円を追加するもの)の起立表決の結果、可決すべきものと決定した。

議案 いきいきプラザの指定管理者の指定について(20年4月1日から25年3月31日まで、特定非営利活動法人ワーカーズコープを指定管理者に指定するもの)の可決すべきものと決定した。

墨田で安心して子育てができるための施策の拡充に関する陳情 計画的に認可保育園の新設や増設を行い、定員を大幅に増やすことなどを区に求めるもの

「まだ待機児がいることは確かだが、保育園の新設、子育て支援総合センターの設置等、徐々にではあるが進んでいる」、「認可保育園をつくらせて所得に応じた保育料にすることにより、安心して子どもを生み、育てられる」などの意見が出され、起立表決の結果、不採択とすべきものと決定した。

陳情 原爆症認定制度の抜本的改善に関する陳情(原爆症認定審査が、原爆被害の実態に見合った制度に改善されるよう、国に対し

議案 墨田区プールに関する条例の一部を改正する条例(学校教育法の一部改正に伴い、所要の規定整備をするもの)の可決すべきものと決定した。

陳情 墨田区地域腎友会透析患者に関する陳情(タクシー券の増量、区施設の無料貸出しなどを区に求めるもの)「他の団体との関係も十分視野に入れる必要がある」、「タクシー券の支給金額は23区の中で一番低い。ぜひとも増額を検討すべき」などの意見が出され、起立表決の結果、不採択とすべきものと決定した。

陳情 きんし保育園民営化計画に関する陳情(区と保護者による協議会を設置し、保護者の理解・納得が得られるまで協議することなどを区に求めるもの)「新たなきんし保育園の取組みについては、スムーズな民営化の誘導につながる努力をしてほしい」、「保護者の理解が十分得られていないので、説明をきちんと続けるべき」などの意見が出され、起立表決の結果、不採択とすべきものと決定した。

陳情 シルバーパスの利用料見直しに関する陳情(所得に応じた負担金の設定など、利用者の負担増を避けるよう都に対して意見書の提出を求めるもの)採択すべきものと決定した。

議案 平成19年度墨田区介護保険特別会計補正予算(国都等返還金など8億1129万円を追加するもの)の起立表決の結果、可決すべきものと決定した。

議案 いきいきプラザの指定管理者の指定について(20年4月1日から25年3月31日まで、特定非営利活動法人ワーカーズコープを指定管理者に指定するもの)の可決すべきものと決定した。

墨田で安心して子育てができるための施策の拡充に関する陳情 計画的に認可保育園の新設や増設を行い、定員を大幅に増やすことなどを区に求めるもの

「まだ待機児がいることは確かだが、保育園の新設、子育て支援総合センターの設置等、徐々にではあるが進んでいる」、「認可保育園をつくらせて所得に応じた保育料にすることにより、安心して子どもを生み、育てられる」などの意見が出され、起立表決の結果、不採択とすべきものと決定した。

陳情 原爆症認定制度の抜本的改善に関する陳情(原爆症認定審査が、原爆被害の実態に見合った制度に改善されるよう、国に対し

議案 墨田区プールに関する条例の一部を改正する条例(学校教育法の一部改正に伴い、所要の規定整備をするもの)の可決すべきものと決定した。

陳情 墨田区地域腎友会透析患者に関する陳情(タクシー券の増量、区施設の無料貸出しなどを区に求めるもの)「他の団体との関係も十分視野に入れる必要がある」、「タクシー券の支給金額は23区の中で一番低い。ぜひとも増額を検討すべき」などの意見が出され、起立表決の結果、不採択とすべきものと決定した。

陳情 きんし保育園民営化計画に関する陳情(区と保護者による協議会を設置し、保護者の理解・納得が得られるまで協議することなどを区に求めるもの)「新たなきんし保育園の取組みについては、スムーズな民営化の誘導につながる努力をしてほしい」、「保護者の理解が十分得られていないので、説明をきちんと続けるべき」などの意見が出され、起立表決の結果、不採択とすべきものと決定した。

陳情 シルバーパスの利用料見直しに関する陳情(所得に応じた負担金の設定など、利用者の負担増を避けるよう都に対して意見書の提出を求めるもの)採択すべきものと決定した。

問 特養老人ホームの待機者は7月現在722人であり、増加の一方である。このような状況の中、高齢者が地域で暮らし続けるための支えあい拠点として小規模多機能型居宅介護が期待され

問 新タワーを中心とした観光まちづくりには回遊性を豊かにするために動線を増やす必要がある。水城ではレンタサイクルや電気自動車等の導入を図るべき。水辺に隣接しては隅田川、北十間川のネットワークを形成し、水城と陸域を結ぶ拠点となる「川の駅」の建設

原爆症認定制度の抜本的改善に関する意見書(要旨)

被爆後62年たった今日も、多くの被爆者が多重がんなどで苦しんでいるにもかかわらず、現在「原爆症」と認定を受けている被爆者は、「被爆者健康手帳」保持者のわずか0.9パーセントに過ぎません。

このような中、国を相手に原爆症認定の却下処分の取消しを求める訴訟が全国各地で提起され、国側敗訴という司法判断が示されたにもかかわらず、国はいずれも控訴しています。

被爆者も高齢となり、裁判中に原告が亡くなるなど、救済には一刻の猶予も許されない状況です。

よって、墨田区議会は国会及び政府に対し、原爆症認定制度を原爆被害の実態に見合った制度に改善するよう強く要望いたします。

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 あて

議案 平成19年度墨田区介護保険特別会計補正予算(国都等返還金など8億1129万円を追加するもの)の起立表決の結果、可決すべきものと決定した。

議案 いきいきプラザの指定管理者の指定について(20年4月1日から25年3月31日まで、特定非営利活動法人ワーカーズコープを指定管理者に指定するもの)の可決すべきものと決定した。

墨田で安心して子育てができるための施策の拡充に関する陳情 計画的に認可保育園の新設や増設を行い、定員を大幅に増やすことなどを区に求めるもの

「まだ待機児がいることは確かだが、保育園の新設、子育て支援総合センターの設置等、徐々にではあるが進んでいる」、「認可保育園をつくらせて所得に応じた保育料にすることにより、安心して子どもを生み、育てられる」などの意見が出され、起立表決の結果、不採択とすべきものと決定した。

陳情 原爆症認定制度の抜本的改善に関する陳情(原爆症認定審査が、原爆被害の実態に見合った制度に改善されるよう、国に対し

議案 墨田区プールに関する条例の一部を改正する条例(学校教育法の一部改正に伴い、所要の規定整備をするもの)の可決すべきものと決定した。

陳情 墨田区地域腎友会透析患者に関する陳情(タクシー券の増量、区施設の無料貸出しなどを区に求めるもの)「他の団体との関係も十分視野に入れる必要がある」、「タクシー券の支給金額は23区の中で一番低い。ぜひとも増額を検討すべき」などの意見が出され、起立表決の結果、不採択とすべきものと決定した。

陳情 きんし保育園民営化計画に関する陳情(区と保護者による協議会を設置し、保護者の理解・納得が得られるまで協議することなどを区に求めるもの)「新たなきんし保育園の取組みについては、スムーズな民営化の誘導につながる努力をしてほしい」、「保護者の理解が十分得られていないので、説明をきちんと続けるべき」などの意見が出され、起立表決の結果、不採択とすべきものと決定した。

陳情 シルバーパスの利用料見直しに関する陳情(所得に応じた負担金の設定など、利用者の負担増を避けるよう都に対して意見書の提出を求めるもの)採択すべきものと決定した。

議案 平成19年度墨田区介護保険特別会計補正予算(国都等返還金など8億1129万円を追加するもの)の起立表決の結果、可決すべきものと決定した。

議案 いきいきプラザの指定管理者の指定について(20年4月1日から25年3月31日まで、特定非営利活動法人ワーカーズコープを指定管理者に指定するもの)の可決すべきものと決定した。

墨田で安心して子育てができるための施策の拡充に関する陳情 計画的に認可保育園の新設や増設を行い、定員を大幅に増やすことなどを区に求めるもの

「まだ待機児がいることは確かだが、保育園の新設、子育て支援総合センターの設置等、徐々にではあるが進んでいる」、「認可保育園をつくらせて所得に応じた保育料にすることにより、安心して子どもを生み、育てられる」などの意見が出され、起立表決の結果、不採択とすべきものと決定した。

陳情 原爆症認定制度の抜本的改善に関する陳情(原爆症認定審査が、原爆被害の実態に見合った制度に改善されるよう、国に対し

議案 墨田区プールに関する条例の一部を改正する条例(学校教育法の一部改正に伴い、所要の規定整備をするもの)の可決すべきものと決定した。

陳情 墨田区地域腎友会透析患者に関する陳情(タクシー券の増量、区施設の無料貸出しなどを区に求めるもの)「他の団体との関係も十分視野に入れる必要がある」、「タクシー券の支給金額は23区の中で一番低い。ぜひとも増額を検討すべき」などの意見が出され、起立表決の結果、不採択とすべきものと決定した。

陳情 きんし保育園民営化計画に関する陳情(区と保護者による協議会を設置し、保護者の理解・納得が得られるまで協議することなどを区に求めるもの)「新たなきんし保育園の取組みについては、スムーズな民営化の誘導につながる努力をしてほしい」、「保護者の理解が十分得られていないので、説明をきちんと続けるべき」などの意見が出され、起立表決の結果、不採択とすべきものと決定した。

陳情 シルバーパスの利用料見直しに関する陳情(所得に応じた負担金の設定など、利用者の負担増を避けるよう都に対して意見書の提出を求めるもの)採択すべきものと決定した。

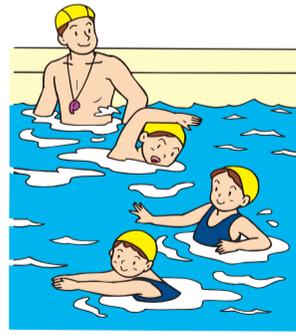


福祉保健委員会のもよう

11月30日

て意見書の提出を求めるもの

採択すべきものと決定した。



墨田区議会—各会派—今年の抱負—



自由民主党 幹事長 坂下 修

墨田区では今年、新タワーの完成を見据えた様々な取組みとともに、総合体育館や中央図書館建設工事など、皆様お待ち望んでいた施策に続々と着手します。そのためには財源を確保し、財政基盤を強化することが必須の課題です。私たちは、区議会の責任ある第一会派として、皆様の期待と信託に十分に応えるため、区はもろろんのこと、国や都に対しても積極的に発言をするなど、全力で取り組んでまいります。

本年が「人が輝くいきいきすみだ」実現の確かな一歩の年となるよう、皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



公明党 幹事長 広田 充男

区議会公明党は7名の議員が団結し、赤ちゃんからお年寄りまですべての方が住んでよかったといえる墨田のまちづくりに全力で取り組んでまいります。

本年は新タワーの建設と関連事業が本格的に始まります。税金の無駄を排する一方で、新タワーを起爆剤として墨田区の再生を図りにぎわいと活気を取り戻すためには、行政主導から区民が起原の区政運営が求められます。したがって、区議会の果たす役割はますます重要になります。これまで以上に区民の皆様と語り、皆様の声を区政に反映してまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



日本共産党 幹事長 高柳 東彦

日頃のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

昨年の区議選では、日本共産党は5人全員の当選で、過去最高の議席占有率に前進できました。6月議会では「区民税の値下げ条例」を提案し、否決となりましたが、区長は「負担軽減策を検討する」と表明、増税による保育料値上げ分の返還が実現しました。

いま、灯油やガソリンなどのあいつぐ値上げ、この間の庶民大増税や社会保障の改悪と合わせて、暮らしはいっそう深刻です。今年もは子年、十二支のはじめとなる区切りの年です。暮らしを守る政治への転換をめざし、さらにがんばる決意です。



民主党 幹事長 あべきみこ

私たち墨田区議会民主党は、希薄になりつつある家族や地域の絆を再生すべく、学校を基軸としたコミュニティの再構築を図り、すみだで暮らす皆様が安心していきいきと暮らし、地域の支えあいのの中で子育て世代や高齢者の皆様が住みなれたまちで暮らし続けられるよう全力で努めてまいります。

また、新タワー建設を契機とした国際観光都市への転換、下町情緒豊かな観光まちづくりの推進を図り、地域経済の活性化を目指してまいります。本年も皆様の更なるご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

議会構成等が一部変わりました

12月14日付けで、「民主新しい風」が「墨田区議会民主党」に会派名を変更し、幹事長が田中哲議員からあべきみこ議員に変更となりました。また、同日付けで田中哲議員が議会運営委員会委員を辞任し、後任に、あべきみこ議員が選任されました。

墨田区選挙 管理委員を選出

墨田区議会では、墨田区選挙管理委員及び同補充員が平成19年11月29日で任期満了となることから、11月26日の本会議において、墨田区選挙管理委員及び同補充員の選挙を行い、墨田区選挙管理委員に中嶋常夫氏、蘭田隆明氏、小池武二氏、松永美樹氏の4人を選出しました。また、同補充員に阿部幸男氏、坂岸栄治氏、北村研一郎氏、西沢京三郎氏の4人を選出しました。



投票のもよう(本会議場)

定例会で議決した議案

- 今回の定例会で可決した議案
- ◎区長提出議案
 - <決算 4件>
 - 平成18年度墨田区一般会計歳入歳出決算
 - 平成18年度墨田区国民健康保険特別会計歳入歳出決算
 - 平成18年度墨田区老人保健医療特別会計歳入歳出決算
 - 平成18年度墨田区介護保険特別会計歳入歳出決算
 - <予算 4件>
 - 平成19年度墨田区一般会計補正予算
 - 平成19年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算
 - 平成19年度墨田区老人保健医療特別会計補正予算
 - 平成19年度墨田区介護保険特別会計補正予算
 - <条例 2件>
 - 墨田区立学校施設使用条例の一部を改正する条例
 - 墨田区プールに関する条例の一部を改正する条例
 - <人事 1件>
 - 墨田区監査委員選任の同意について
 - <その他 2件>
 - すみだ産業会館の指定管理者の指定について
 - いきいきプラザの指定管理者の指定について
 - ◎議員提出議案(4件)
 - 法人住民税の税収の配分方法の見直しに反対する決議
 - 原爆症認定制度の抜本的改善に関する意見書
 - シルバーパスの利用料見直しに関する意見書
 - 後期高齢者医療制度に関する意見書

みなさんの声

【請願・陳情の審査結果】

今定例会では請願1件・陳情5件(うち1件は継続審査となっていたもの)を所管の委員会で審査し、最終日の本会議で次のとおり決定しました。

- 採択したもの
 - 【福祉保健委員会付託】
 - 原爆症認定制度の抜本的改善に関する陳情
 - シルバーパスの利用料見直しに関する陳情
 - 不採択としたもの
 - 【区民文教委員会付託】
 - 後期高齢者医療制度をはじめ高齢者医療制度改悪の中止・撤回に関する陳情
 - 【福祉保健委員会付託】
 - 墨田で安心して子育てができるための施策の拡充に関する請願
 - 墨田区地域腎友会透析患者に関する陳情
 - きんし保育園民営化計画に関する陳情



法人住民税の税収の配分方法の見直しに反対する決議(要旨)

現在、国においては、大都市と地方の税収格差を是正するという理由で、地方法人2税(法人事業税、法人住民税)の税収の配分方法の見直しなどにより、東京をはじめとする大都市の税源を地方に配分しようという検討がなされている。

こうした検討は、東京における膨大な行政需要を考へることなく、東京が富裕であるという一方的な見方に立って行われているものであり、きわめてバランスを欠く不当なものである。

とりわけ、法人住民税は、平成19年度では、都区財政調整の財源となる調整三税の約42パーセントを占めており、法人住民税の税収の配分方法の見直しは、特別区の財政を直撃するものである。

よって、墨田区議会は、法人住民税の税収の配分方法の見直しにより、東京の地方税収を地方に配分することに強く反対するものである。

以上、決議する。 墨田区議会

後期高齢者医療制度に関する意見書(要旨)

平成20年4月から、「後期高齢者医療制度」が導入される予定ですが、国は、「東京都後期高齢者医療広域連合」に対する交付金を大きく減額することとしており、その減額分については、被保険者が保険料として負担することとなります。また、後期高齢者に対する保健(健診)事業に対する国・都の財政支援も十分なものであるとは言えません。

よって、墨田区議会は国会、政府及び東京都に対し、下記事項を実現するよう強く要望いたします。

記

- 1 国や東京都が負担金を増額し、高齢者の負担を減らすこと。国の負担部分については、調整交付金の制度を設けず、全額を支給すること。
- 2 後期高齢者に対する保健(健診)事業に対して一定の責任を果たすため、確実に財政支援を実施すること。
- 3 高齢者が安心して医療を受けられるように制度の見直しを図るとともに、医療制度についての理解を深めるための周知に努めること。

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣
東京都知事 あて

次の定例会は2月に開かれます。

区議会事務局議事調査担当 5608-6352

編集後記

区議会事務局から

新年を迎え、皆さんいかがお過ごしですか。

「区議会だより」は昭和49年4月に、区民の皆さんに区議会の開会状況や審議状況などについて、詳しくお伝えするという趣旨のもとに創刊されました。

今後も積極的に議会の情報を提供し、読みやすい紙面構成に努めます。

平成19年第2回臨時会が12月25日、会期1日間で開かれました。区長から「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」ほか5議案が提出され、所管の常任委員会で審査の後、いずれも原案どおり可決されました。

第2回臨時会が開かれました